

芹ヶ谷公園再整備基本計画（事務局案）

- 1 計画の目的
- 2 再整備テーマ
- 3 計画イメージ図
- 4 想定される事業例
- 5 町田市中心市街地との関連図



計画の目的

新たな賑わいの創出

芸術の杜にふさわしい空間演出

公園予定地を含めた一体的活用

中心市街地に隣接する緑豊かな芹ヶ谷公園は、地域に住む方々はもちろん、買い物や仕事で町田駅を訪れた方々も気軽に立ち寄れる公園です。

まちなかにありながらも、保全された谷戸地形が静かな空間を創出し、湧水に恵まれた園内では四季折々の景観を楽しむことができます。

園内には、世界でもめずらしい版画を専門とする国際版画美術館があり、点在する彫刻とともに芸術を感じられる空間となっています。さらに、生活に密着した美を探究する（仮称）国際工芸美術館の建設が新たに予定されています。

「町田駅周辺のまちづくり」を町田市の重点施策として掲げている今、上記のような芹ヶ谷公園の魅力を一層向上させることで、新たな賑わいを創出することが求められています。

再整備を行い、芹ヶ谷公園及び公園予定地を含めた土地を一体的に活用することで、公園全体で芸術の杜とも呼べる空間を演出し、「ヒト・モノ・文化が交流するまち」の公園として芹ヶ谷公園が生まれ変わることを目指します。

公園に求められるもの

- 町田荘跡地（都市計画決定済未供用約 0.5ha）の活用
- 高ヶ坂都営住宅跡地（約 2.5ha）の活用
- （仮称）国際工芸美術館の建設計画に合わせた整備
- トイレや管理棟など老朽化した施設の改善
- 防災及び防犯機能の充実

町田駅周辺のまちづくり

- 中心市街地の活性化
- 回遊性向上

2020年東京オリンピック・パラリンピック

- 東京からの世界へ向けた芸術文化の発信
- 都内公共施設の多言語表記、ピクトグラム等の推進

その他の要素

- 都市計画道路町 3・4・11 号線、同 3・3・36 号線の計画
- 多摩都市モノレールの町田方面延伸路線の構想

< 芹ヶ谷公園の再整備テーマ >

「まちなかで 人と緑が 出会い ふれあう 芸術の杜」

課題

整備方針

中心市街地との関連性

- ・中心市街地における芹ヶ谷公園の位置づけの検討
- ・中心市街地のまちづくりと一体的な再整備

植栽の配置

- ・木の密度や高木と低木のあり方の検討
- ・昼間でも暗いうっそうとした雰囲気改善
- ・四季折々の見所の創出
- ・開放的な整備エリアと自然保護エリアの区分け

新しい楽しみ方の創出

- ・食事ができる施設の充足
- ・隣接する八幡平遺跡を地域の歴史として学べる施設の検討
- ・芸術の杜にふさわしい整備と（仮称）国際工芸美術館の調和
- ・子どもが「やってみたいと思うこと」を実現していく冒険遊び場の運営

アクセス性の向上

- ・案内看板の整備など楽しみながら歩ける工夫
- ・新たな駐車場用地の検討
- ・送迎バスの運行や観光バスの誘致など新たなアクセスの開拓

防犯、防災機能の充実

- ・死角の解消、夜間の暗さの改善などの治安向上
- ・大規模災害時の避難拠点として防災機能の充実

公園予定地の活用

- ・町田荘跡地の活用
- ・高ヶ坂都営住宅跡地の活用



町田駅周辺の回遊性、賑わいを創出する場にします

- ・中心市街地との回遊性を高め、来街者が休憩したり食事をしたり、自由に楽しめる場にします。
- ・中心市街地に接する開放的でおしゃれなみどりの空間として整備し、老若男女のデートスポットともいえる場にします。

文化芸術を発信する場にします

- ・国際版画美術館や（仮称）国際工芸美術館を中心に、文化芸術の薫る場にします。
- ・中心市街地から公園までのアクセス路に文化芸術を感じられるようにします。

人々が集い憩う場にします

- ・谷戸地形や湧水など、地域の自然を感じることができる資源を活用します。
- ・地域住民が安心して気軽に集い、憩える場にします。

遊び学べる場にします

- ・豊富な水や緑と触れ合い、広い空間で自由に遊ぶことができる場にします。
- ・地域の歴史を学び感じる場にします。
- ・地域住民が集い憩う中で自然に見守られながら、子ども一人ひとりが健やかに育つ場にします。

何度でも訪れたいくなる場にします

- ・四季折々、行く度に楽しめる花木の配置を行い、1年を通じて思い出を作れる場にします。
- ・様々なイベントやワークショップを開催し、多くの人が興味を持てる場にします。
- ・アクセスや案内表示などの周辺環境を整備し、誰もが行きやすい公園にします。

中心市街地の防災力を支える場にします

- ・オープンスペースの確保と防災関連設備の充実を図り、中心市街地の防災力を向上させます。
- ・防災機能を地域住民や中心市街地への来街者に広く周知する工夫を行い、防災意識の向上につながる場にします。



4 想定される事業例

| 整備方針 | 事業例 | 事業化のために検討・調整すべき事項 |
|---|------------------|---|
| 町田駅周辺の回遊性、賑わいを創出する場にします | | |
| <p>中心市街地との回遊性を高め、来街者が休憩したり食事をしたり、自由に楽しめる場にします。</p> | ○オープンカフェ整備事業 | ●管理・運営主体の設定と採算性の検討 |
| | ○バーベキューサイト整備事業 | ●資材の貸出、火気の使用、近隣への影響の検討 ●防災機能としての活用の検討 |
| | ○町田荘跡地整備事業 | ●「食」の要素を入れた事業の検討 |
| | ○都市計画道路推進事業 | ●都市計画道路町3・4・11号線の事業促進 |
| | ○小田急線跨線橋整備事業 | ●小田急電鉄との調整 ●過大な事業費 |
| <p>中心市街地に接する開放的でおしゃれなみどりの空間として整備し、老若男女のデートスポットともいえる場にします。</p> | ○明るい空間創出事業 | ●明るい空間創出のための植栽の間伐規模の検討、針葉樹から落葉樹への植替えの検討 ●小田急線からの見え方など、視認性に優れた整備の検討 |
| | ○園内イベント企画事業 | ●ライトアップ、イルミネーションなどを使用する新たな公園イベントの検討 |
| | ○園路等再整備事業 | ●ベビーカーやハイヒールでも歩きやすい動線の検討 ●高ヶ坂都営住宅跡地（芝生広場）まで散策を楽しめる幅員の検討 |
| | ○多目的広場芝生整備事業 | ●広場の利用実態と需要の把握 |
| 文化芸術を発信する場にします | | |
| <p>国際版画美術館や（仮称）国際工芸美術館を中心に、文化芸術の薫る場にします。</p> | ○（仮称）国際工芸美術館整備事業 | ●（仮称）国際工芸美術館基本設計、実施設計との調整 |
| | ○文化芸術体験事業 | ●ワークショップの企画や体験型施設整備の検討 |
| <p>中心市街地から公園までのアクセス路に文化芸術を感じられるようにします。</p> | ○アートストリート企画事業 | ●大学などと連携したアートイベントの検討 |
| | ○ストリートファニチャー整備事業 | ●導入施設の位置、規模の検討 |
| 人々が集い憩う場にします | | |
| <p>谷戸地形や湧水など、地域の自然を感じることができる資源を活用します。</p> <p>地域住民が安心して気軽に集い、憩える場にします。</p> | ○水路整備事業 | ●新たな水路整備の検討 ●水辺植物の配置の検討 |
| | ○虹と水の広場再整備事業 | ●モニタリングの診断 ●滑り止めなど安全確保策の検討 |
| | ○園内トイレ整備事業 | ●誰でも安心して利用できるトイレ整備 |
| | ○照明灯再整備事業 | ●照明灯の配置、照度を防犯上の観点から検討 |
| | ○園内危険箇所改善事業 | ●防犯を考慮した施設配置、植栽の間伐規模の検討 |
| 遊び学べる場にします | | |
| <p>豊富な水や緑と触れ合い、広い空間で自由に遊ぶことができる場にします。</p> <p>地域の歴史を学び感じる場にします。</p> <p>地域住民が集い憩う中で自然に見守られながら、子ども一人ひとりが健やかに育つ場にします。</p> | ○ホテル生息環境整備事業 | ●虫を活用した魅力向上に向けた取組の検討 |
| | ○遺跡ガイダンス施設整備事業 | ●ガイダンス施設の規模、位置、アプローチ等の調整 |
| | ○冒険遊び場運営事業 | ●公園利用者や景観との調和 |
| | ○大型複合遊具整備事業 | ●まちなかの公園らしい魅力ある遊具の選定 ●子ども連れ来園者の動線を考慮した配置の検討 |
| 何度でも訪れたいくなる場にします | | |
| <p>四季折々、行く度に楽しめる花木の配置を行い、1年を通じて思い出を作れる場にします。</p> <p>様々なイベントやワークショップを開催し、多くの人が興味を持てる場にします。</p> <p>アクセスや案内表示などの周辺環境を整備し、誰もが行きやすい公園にします。</p> | ○植栽・花壇等再整備事業 | ●四季の緑を感じられる花木、草花、花壇の検討 ●桜祭りに相応しい植栽の種類、配置及び規模の検討 |
| | ○ワークショップ等企画事業 | ●自然をテーマにした集客事業の検討 |
| | ○駐車場整備事業 | ●普通車の配置の検討 ●大型車の配置及び駐車場へのアクセス路の検討 |
| | ○サイン整備事業 | ●公共事業景観形成指針との連携 |
| | ○アクセス改善事業 | ●観光バスの誘致の検討 ●シバヒロから公園西側の入口の連携、入口の改良 |
| 中心市街地の防災力を支える場にします | | |
| <p>オープンスペースの確保と防災関連設備の充実を図り、中心市街地の防災力を向上させます。</p> <p>防災機能を地域住民や中心市街地への来街者に広く周知する工夫を行い、防災意識の向上につながる場にします。</p> | ○高ヶ坂都営住宅跡地整備事業 | ●芝生広場の需要調査 |
| | ○防災対応公園施設整備事業 | ●防災ベンチ、防災倉庫、非常用トイレ、防災行政無線など防災対応施設の検討 |

5 町田市中心市街地との関連図

